

第2期 第2回向日市エコ地域推進委員会議 会議録

- ・ 日 時 : 平成20年7月31日(木)
午後1時30分～4時20分
- ・ 場 所 : 向日市役所 第1会議室
- ・ 出席者 : 委員 12名 (1名 欠席)
木村市民生活部次長 山本市民生活部次長
笹田係長 高津総括主任
- ・ 傍聴者 : なし
- ・ 議 題 : 1. 推進委員による懇話会の報告について
 - ・ マイバッグ運動
 - ①街頭啓発の時間帯について
 - ②「消費者の会」街頭啓発参加について
 - ③アンケート調査の実施について
 - 2. 廃食油施設見学について(感想等)
 - 3. その他
 - ①放置竹林への取組について
 - ②「環境フォーラム」について

(座 長)

6月19日(木)に行政側抜きで、エコ地域推進委員会議懇話会を開催した。

マイバッグ運動の街頭啓発の時間帯を夕方にしてはどうか。との意見があったが、従来通りの時間に実施することになった。

マイバッグ運動について、アンケート調査を行ってはどうか。との意見については、アンケートは必要でない。との意見があったので実施しないこととした。

しかし、サティ前で街頭啓発をしていることを知っている市民は、サティ周辺の住民であって、寺戸町大牧・上植野・鶏冠井・物集女方面の住民は、家の近くのスーパーで買い物をするため、マイバッグ運動をしていることは知らない。

アンケートをして、どれくらいマイバッグについて認識があるのか。調査してみたい。

富山県の高岡市では、6月からはコンビニ以外はすべて、ノーレジ袋となっている。

マイバッグ運動は、やればできる。

今後マイバッグ運動はどう進めていくのか。

先日の街頭啓発の後、サティの1階の店長に館内放送をしていただくようお願いした。今後協議するとのことであった。

次にレジ袋の有料化はいつ頃になりますか。との問いには、現在ところ、そういう話は出てないとのことであった。

一度経営者にお会いして、どういう方針で今後レジ袋を出されるのかお聞きしたいとのことを伝えた。

マイバッグ啓発運動について皆さんのご意見を伺いたい。

(委員1)

サティの考えを聞きたい。

文書での申し入れをしてほしいようなことを言っておられたので、出した方がいいのであれば出していこうと思う。

(座長)

申し入れ文書は、エコ独自で出していいのか、行政と委員会と合同で出すのか。

この運動は、エコ推進委員会議のマイバッグ運動なのか、向日市の行政の中のマイバッグ運動なのか、それを明らかにしていただきたい。

エコ会議のわれわれだけのマイバッグ運動であればしない方がましだ。

マイバッグ運動は、地球温暖化と一緒だ。アイドリングストップも同じだ。

市として、どれだけ支援していただけるのか。

(委員2)

レジ袋については、業者からは出さない。どうしても必要な人は、5円、10円を出していただく。有料化が一番手っ取り早い。

我々がいくら啓発して、お願いしても、行政の一言があればみんなその方向に動く。

(事務局)

直接サティへ行かれ、お話をされたことを今日始めてお聞きした。

(座 長)

サティへ行ったのではなく、街頭啓発のときに、1階の店長さんがおられて、挨拶からはじまり、館内放送をしていただきたいことや、レジ袋の有料化の話へととなった。

今のところ有料化の方向はもってない。もし、そうであれば、文書で提出していただけないかと言われた。

(委 員 2)

申し入れがなくても、これだけ問題になっているのだから、自発的に出してほしい。

(事務局)

はじめてお話を聞いたのですが、行政としては、従前からごみの減量化を、事業者にも協力を求めている。

レジ袋の削減について、サティから行政の方へ直接来られ、会社の経営方針、お客様とのサービスにつながる話ですので、会社独自で経営努力をしていただきたいと伝えた。

(座 長)

マイバッグ運動を京都府全体の運動としてはどうかとの話もある。

他府県では、完全にレジ袋を出していないところもある。

それは、行政と市民会議との一体した動きであると思う。

(事務局)

行政が自ら業者に対して、レジ袋に対する取組依頼の文書を出すと、サティに限らず、全部の業者に出さなければならない。

(委 員 2)

京都府と組んでいただいてもいい。

地球温暖化は日本、世界全体の問題であるので、遠慮することはない。

(座 長)

この運動は、エコ推進委員会だけでマイバッグ運動をしているのか、向日市を挙げてのマイバッグ運動を推奨されているのかどちらなのか。

(委 員 2)

今、企業では、エコ抜きでは企業活動はできなくなっている。

時代の波に乗っている。だから遠慮する必要はない。

向日市は大変慎重にやっている。

二市一町で取り組んでもいいし、京都府と組んでもいい。国会を動かしてもいい。みんな絶対にのってきます。

(座 長)

この運動は何年続けても、ただ単にマイバッグ運動をやっているというだけでは意味がないと思う。

(委 員 2)

もう少し、強気でやってほしい。

(委 員 3)

きのう、店長と立ち話の中で、ノーレジ袋運動について、中身まで話したことに対して、勝手に言ってもらったら困ると言うことでしょ。

(事務局)

今日はじめて聞いたので、考える余地がほしい。

行政としても立ち上げをしたときには、各商工連合会加盟団体のほとんどに、マイバッグ運動の設立の文書を、ノーレジ袋の削減という形で協力依頼している。

それは、エコ推進委員会議にかかわらず、この問題については、行政主導でやらしてもらいます。とはじめに、説明させていただいた中で、協力できるところについては、エコの方と共同連携をして取り組んでいきたいと思います。説明したと思う。

(座 長)

協力連携はない。どういう協力連携があるのか。

(事務局)

毎月30日に街頭啓発していただいで取り組んでいただいでいることが連携です。

(委 員 2)

その結果はどうです。今現在の結果はどうです。

(事務局)

まだ取り組んで1年です。

(委 員 2)

先送りの問題ですか。

(事務局)

ごみ減量推進協力店ののぼり啓発もしている。

(委員2)

のぼりあげただけで、結論は出てないということですか。何年たっても同じではないか。いつ頃に結論出してもらえるのか。

(委員4)

座長の話や、その他2～3人の話を聞いていると、いつも違うような気がする。

この推進委員会議の設置要綱を読んでもらったら、これは、もともと向日市がやっている。他の団体にも言っている、と事務局が言っているので、言った言っていないことを議論する必要はないし、言っていた言っていない、なおかつ2年も続いている、ノーレジ袋・マイバッグ運動に対して、行政は何もやってきてないという意見が多いのですが、もともと自主的に参加して自主的にやっているのですから、行政に「やれ」と言われてやっていることではない。みんなで「やろう」と言うことで、行政もバックアップしてくれている。当然の成り行きとして、他の団体にも言ってくれている。

私は、それは知らなかったが、もしそうだとしたら、座長の名のもとに、推進委員会と書いて、下に行政の名前の出し方を事務局で考えていただきたい。それを推進委員会議から出せばいい。

対立的な話ばかりしていても始まらない。

事務局が、他の団体に説明されていると言われているので、認知されている。それならそれで、座長の名前で出すのに、行政の名前をどういう形でどういように出すのか。

(座長)

どういように認知されているのか。

参加して推進会議の意義があるのでは

任意であれば私は出ない。一つの中でやろうということを出てきてやっている。

(委員4)

認知されていてやっているのであるから、推進委員会議の名前だけで文書を出すのではなく、何らかの形で行政の名前を出せないか。

推進委員会議設置要綱の中でどのような形で出せるか、と思っている。

主でやるのはおかしいし、推進委員会の座長の名前で出して、行政の名前

をどういうようにいられるか。

はじめて聞いた話とおっしゃったが、この話はずっと前からある。はじめて聞いたというのは取り消してもらいたい。

(事務局)

サティの関係者と直接話されたということをはじめて聞いたということです。

待ってくれというのは、行政がどういう名前の出し方ができるのか検討したい。

(座長)

エコのある程度の意見は行政にどのように反映されているのか、どういう形で私たちは市長から委嘱を受けたのか。

向日市全体で動いてほしいとの要求はどこまで通るのか。

マイバッグ運動は、10年も20年もやれるものでもない。ここ1・2年が勝負。だらだらとやっても同じだ。

環境問題は、行政と一体とした動きでないとダメだ。

(委員2)

環境基本計画では、アイドリングはやってはならないと記載されている。

それにもかかわらず、老人福祉センターの送迎バスは、アイドリングをしている。

基本計画を作るとき、市だけの問題ではなく、下部団体も含めたことだと言われた。

市として、職員に対し、アイドリングをしないよう通達を出してほしい。基本計画の改定の答申をしても、後は何もしない。それではいくら会議をしてもだめだ。

(事務局)

行政自らが襟を正していかなければならないと十分に受け止めている。車両関係の総務課から通達を出して、全職員が認識のもと取り組んで行くよう、徹底していきたい。

(委員2)

(資料説明)

お客さんからマイバッグの効果を聞かれると返事ができない。

この資料には、CO₂が62グラム削減できると書いてあるが、これを言

っても納得されない。5万市民の心を動かすには、もっと具体的な説明が必要。私たちは、いかに5万市民を動かしていくか。そういう施策を提案しなければならない。

(座 長)

マイバッグ運動は続けていかなければならないので他の団体にも声をかけていただきたい。

(事務局)

エコ会議で提言いただいたことに関して、また、ここで決めていただいた内容について、行政は積極的に協力、バックアップしていこうというのが本来の目的である。

今話に出ました、行政が名前を入れて連名で書くのか。その方法については検討をさせて下さい。

そこで、この委員会でまとめた意見として、行政と一緒にこういう形でもっていこうということをここで決めてほしい。

この委員会では話が出ただけで、それを実施しようとも何も決まってないので、意見をまとめていただきたい。

(委 員 2)

向日市の環境基本計画にはアイドリングをやめにしようとして書いてある。総務課や人事課、環境政策課で、市の関係に通達を出してアイドリングをやめさせてほしい。

基本計画に書いてあることは本腰を入れてやってほしい。お願いできますか。

(事務局)

やってほしいとか、この推進委員会議は皆さんが今後の活動について方向性を示してもらおう場である。

(座 長)

マイバッグ運動について、マイカルや各商店会に対して、エコ推進委員会議として、書面での協力要請の申し入れが必要かどうか。どう思われますか。

(委 員 5)

必要だと思う。

会社の中の目標とか、行動計画の中に、マイバッグ運動を入れて、せめて自分の会社の従業員にもきちっとやってもらう。

(委員4)

座長さん、みんな賛成なようなので多数決をとって決めて、行政にお願いしますと言えば次の議題に入れる。

(座長)

どうですか、みなさん

(委員)

賛成

(委員4)

行政の方の名前の出し方をお願いします。
推進委員会議から全員の要求ですから。

(委員6)

文書を出すのは、サティだけの話ですか。

(座長)

違います。

(委員6)

せめて大手のスーパーに出さないと意味がない。

(委員4)

行政として、全部に文書を出すというのはいいのですか。

(事務局)

範囲をどのくらいまでもっていくか。

商工連合会の加盟団体、商工会を通じて通達がだせるのであれば、手間が省けてよい。

個別にまわろうと思うと、配布方法をどうするか。その点もきちっとした決め方をしておかないと。

推進委員の皆さんが個別に全部商店にまわられても、依頼を持っていかれるのか。そのへんもきちっとして、文書を出す以上は、ここで決めていただきたい。

(委員4)

商工連合会に入っているメンバーの会社だったらいけるわけですか

(事務局)

その中でも加盟されていない商店もあるので

(委 員 4)

加盟されている商店には出せるわけですね。

(事務局)

そのへんは商工会の方と事務局と協議しないと、勝手なことはできませんので。

(委 員 4)

比較的了承はもらいやすいですね。

(事務局)

もらいやすいことは確かです。

(委 員 4)

皆さん、そのへんでどうですか。

一応は、2年以上やっているサティのところのマイカル系にはやろうという話は進んでいた。他のところでは、街頭啓発をやっていないので、そうすると行政としてもむつかしい、また、いちからという大変なので最低でもマイカルだけで

もし商工会に加入しているところからやれるというのであれば、そこまで広げてください。すぐに出来ることをしましょう。せつかくここでまとめたので先送りにならないように。

(座 長)

商工会との関係もあるので、行政からよろしくお願いしたい。

啓発時間については、10時からでよろしいですか。

(委 員)

結構です。

(座 長)

「消費者の会」の街頭啓発の参加について

8月から2人ずつ参加します。

エコ推進委員会として、協力依頼文を消費者の会に出す。

(事務局)

環境問題について、座長は以前から他の団体との連携ということをおっしゃっていらしたので、消費者の会の方とも、よくお会いしますので、口頭でもお願いしておきます。

(委員 2)

エコの付加組織になるのか、同じ組織になるのか。こちらの判断だ。
組織的にはどうなる。

(事務局)

マイバッグ運動の連携取組になる。

(委員 4)

主でやっているのはエコ地域推進委員会議なのに、啓発に参加してもらうのに、消費者の会にお願いするのはよくわからない。

お願いしないとできないのですか。

消費者の会が頼まないといけないこともないし、エコの方が頼むこともない。

(座長)

礼儀として参加をお願いにあがらないと。

(委員 7)

消費者の会も環境問題について、今年は勉強会をしようということでそれで、この街頭啓発のことを話すと、お手伝いをさせていただきます。とのことになった。

参加者も毎回違うので、その人達に対して口頭で言うよりも、座長からの依頼書があるとうれしいという話です。

お願いします、頼まれるから行くということではないのです。

(座長)

依頼書があると、啓発に参加してもらう際に、説明しやすいのではないか。

(委員 2)

向日市まつりでも、となりで環境問題を取り上げているところもある。
それと同じで、何も一緒にすることはない。

(座長)

広い範囲の中でやっていこうとすると、お互い連携を組んでやっていってこそできるのではないか。

では、8月からですね。

(座長)

次に、アンケートはしますか。

(委員 2)

アンケートは内容が問題。結果だけでそのまま動かす、アンケートの裏を読めるようなアンケートをしてください。

(座 長)

アンケートをとるかとらないか。

(委員 3)

アンケートの目的は。

(座 長)

マイバッグ運動を 2 年間やってきたけれど、どれだけ市民に浸透してやっているか。

物集女の方は、サティまで行かないで近くのスーパーに行くので、30日にサティで啓発をしていることを知らない。

知っているのは、寺戸の一部分だけ。

(委員 4)

私はそうは思わない。知っているけれど、バッグを持ってきていないだけ。

(座 長)

マイバッグのことは知っていても、向日市が30日に啓発活動をやっていることは知らない。

(委員 1)

アンケートをとるのは、向日市のマイバッグ運動を知っているかどうかです。

(座 長)

それと、環境問題についてどう思われるか、どうされるか。

アンケートを独断で作ったのではなく、第1回の会議のときに、アンケートの話が出て案を作っただけ。

(委員 2)

市民に、エコについてどれだけ関心があるのか、どういうことをあなたはやっているのか、どういうところで困っているのかを問う。

そういう問題に絞ってアンケートをするのであれば賛成です。

(座 長)

アンケートの案を出しただけで、決定づけていない。

内容については直してもらいたい。

(委員2)

ですから、そのときは保留となっていましたね。

(座長)

アンケートをするのであれば、案を検討しておいてくださいとなっていた。

(委員2)

市民はエコ問題に取り組まなければならないと思っているが、具体的にどうしたらいいか。そのあたりをアンケートにとって、次の段階へつないでいく。

このような利用の仕方の方がよい。

(座長)

アンケートを次回までに考えてもう一度検討するという方。

(委員)

賛成

(座長)

中身を変えてもらって結構です。

(委員8)

これを、おおざっぱな広い範囲になったらアンケートの意味がなくなる。

(委員2)

向日市民の意向が返ってくる。

(座長)

全体的にエコの委員10名の自分の町内だけでもよい。50軒だけでも、無記名のアンケートをとった動向がわかるのではないか。

(委員8)

アンケートをサティのまわりでとると、上植野や物集女、森本でとると、バラつきがあるので、それを均等にとれますか。

バランスよく、偏らないように。

(座長)

それはそのときやりますから。

なにかの目安は必要。これは案なので、次回までに考えて下さい。

(委員1)

アンケート実施には賛成できない。

地域の偏りがあるとか、どういうとり方をするとかによって、ぜんぜん違うかもしれないし、マスコミの影響が出てくると思う。

向日市だけでアンケートをとる意味があるのかどうかわからないし、そのアンケートをとってどこに返していくのか難しい。

ただ単にアンケートをとって、こうだったんだという、自己満足であればあまり意味がない。

(座 長)

アンケートをとりますか、とりませんか。

(委 員 8)

今の意見もわからないこともないが、それを言い出したらアンケート一切ができないようになってしまう。だからそのアンケートをとったのをどういうように反映するのか。出てきたアンケートによって、それをどうこう言ってもまだ早いのではないか。

(委 員 1)

向日市まつりでクイズをやりましたよね。

(委 員 8)

何回も同じことをサティ前で2年やってもいいのではないか。

1回や2回で浸透しないのだから。

向日市まつりで去年と同じアンケートやクイズをしても、それを出す方が効果はあるのではないか。

毎年同じ問題でも、回数を重ねることにより正解率が上がっていけばよいと思う。

(座 長)

今のアンケート案を元に考えてください。

次に、廃食施設の見学について

エコで油回収をするのは無理ではないか。

各個人で回収をされた方がいいのではないかと思う。

(委 員 3)

施設については、いいと思う、あった方がいいと思う。

造るのであれば、それなりの理念がなければできないと思う。

行政がどういう方向で環境問題と基本計画に基づいて、具体的に何をすべきかという理念がはっきりしていない。

(座 長)

2008年1月に食用の油回収をしようと思い、向日市に話しをしたところその当時向日市は、油回収の意志はなかった。市としては、そこまで手がまわらないので、行政より先に飛び越えないでほしいと言われた。

私としては、ここまで話を進めていたので、私の自治会だけでも回収をしようと思っていた。しかし、私独自で勝手にやるわけもいかないし、市のバックアップも必要だ。

最近になって油回収に市も動き出された。

京都市の油回収には、市から助成金制度がある。

向日市の今の財政では無理だ。

行政の支援は必要だけれど、やるのであれば、サークルや、個人的にやればよい。そのときは広報で紹介していただきたい。

エコでする場合は無理だ。

(委 員 4)

マイバッグ運動でも2年やっても成果が上がらないと言っているけれど、私は、徐々に上がっていると思う。人の心は簡単に動くものではない。目的をはっきりさせる。

設備は向日市で作るのは無理だというのはわかる。

2年かけて道がつかないかと思う。長岡京市でやっているのであれば、市が応援しなくても、簡単でないのはわかるが、どんな方法だったらあるのか。

これをやるとなれば、女の人が必要。男性では無理がある。

やるとすれば、家庭の主婦が何らかの形での協力がなければ成立しないと思う。その道づけを2年かけてできないかを見学に行つて思った。

(座 長)

私は何もマイバッグ運動ができていないとは思っていない。

ある程度の意識は出てきている。その意識をもっと早くもっていかなければならないのではないか。

私は、エコ会議ではできないと思いますが、拠点を作ってエコでしますか。

(委 員)

今すぐにやらない。課題としておく。

(座 長)

エコとしては、廃食油の回収については、拠点作りや管理体制もあるので、町単位の中で、個人的にされるのがいいのではないかと思います。

(委員3)

施設を造るとしたら、その市の人口に関係なく京都市の施設費用と同じくらい必要だと思うので、二市一町、乙環あたりで油回収の推進する役割をはたした方がいいと思う。回収した油を公用車の燃料に使えばいいのではないか。

(座長)

油の施設まで、今の乙環の状態では造れない。

(委員3)

そのくらいの規模でやるのであれば、できる可能性はあるということです。

(座長)

次に放置竹林の取組について

(委員9)

困っているところを調べて直接、加害者・被害者に訳を説明する。

市の方で解決しにくいところは、行動を起こして啓蒙、全体で協力するようもっていく。

しかし、竹藪の所有者の区分けが非常にわかりにくい。

(座長)

竹林をどうしていくのかが問題。

竹林整備は労力が必要。この会議のマイバッグ運動のように3、4人でできるものではない。

市にも中に入ってもらい、若い人のボランティアを募集しなければならない。

(事務局)

「竹の径・かぐやの夕べ」が10月18日(土)に開催される。

趣旨は観光PR、放置竹林の伐採。

この事業は、竹筒に水をはり、水ろうそくを浮かべ竹行灯を竹の径に4000本設置する。

その竹筒の製作に参加をし、竹切りなどの体験をしてから、今後の放置竹林への取組を検討してはどうか。

9月27日(土)・10月4日(土)午前9時～午後4時30分ぐらいまで

保険料が必要、1日200円程度

場所は市役所北側の竹藪

見学の場合は竹藪に入らず、外側から見学

また、9月20日(土)に長岡京市の婦人教育会館の南側の竹藪において、竹炭作りが行われます。

以上、案内については後日お知らせします。

(事務局)

今年度の取組議案として、環境フォーラムを実施する。

現在、本市で作成している地球温暖化対策実行計画を、今年度中に策定を計画している。この中で一旦、中間報告を作成し、それをこの会議のメンバーに入ってもらい、ワーキンググループ形式で実際に作成した計画の評価をしていただきたい。本年度、市の事務事業内で温暖化効果ガスの排出を抑えるために、地球温暖化防止計画の策定作業を進めております。この温暖化ガスの排出ガスを抑えるための事務事業内での排出ということになりますので、あくまでも本市、市役所の施設の中で排出されている、電気・ガス・燃料・ガソリンなどの消費から生まれます温室効果ガスについての計画。

この計画基準となる年度を定めて、どの時点で市役所の事務事業から排出されている温室効果ガスを目標年度までに、具体的にどのような方策で何%削減するか、という案を実行し、評価を行うものであります。

庁内に策定委員会を設け、各部署単位でワーキンググループを作って、実行のある計画を策定してまいりたく存じております。

この計画の策定で、今年の11月下旬から12月上旬ぐらいにかけて案を策定いたしますので、それを皆様に公開させていただき、その中で環境基本計画の庁内推進会議の中で、実際にワークショップを行うわけですが、この中に皆様も入っていただき、ご意見をいただき、よりよい実行計画を策定したく存じております。

これについて、案を是非ともご参考いただきたく提案させていただきます。よろしく願いいたします。

(事務局)

役所の職員と一緒にあって忌憚のないご意見を出していただきたい。

以前、エコ推進委員会議の取り組んでいる内容等を聞き入れてほしいとのご意見もあった中で検討させていただき、地球温暖化計画、事業所としての実

行計画の中で策定が義務付けられている。その中でエコ地域推進委員会議の皆さん方の厳しい意見が出るものと思います。その中で調整を図りながら、策定していこうというものであるので、参加協力をお願いします。

(座 長)

平成 16 年のエコドライブの問題も入る訳ですね。

(事務局)

事務局として取り組んでいかなければならない問題は、電気・ガス・含まれてきますので、また、皆様に案内をさせていただきますので。

(委 員 2)

どこの団体でも。7月～12月の各家庭での電気・ガスの消費量を調査してコンクールをやっているようだ。

私の案としては、6月の環境月間に PR をして、7～12月までの電気・ガスの使用量を調査して、コンクールをしてはどうか。

(事務局)

地域の取組としてはあるけれど、今の説明は市の事務事業内に限られている。将来的には、考えていかなければならないと思っている。

(座 長)

その話はそれで 10 月の下旬にやるということ

(事務局)

今年の向日市まつりは、11月15・16日です。

実行委員会では、洞爺湖サミットも開催されたこともあり、まつりでも環境問題を取り上げてはどうかとの意見があった。

次回の委員会で具体的な検討があると思うが、地球温暖化の啓発コーナーを設ける予定をしている。

たとえば、牛乳パック 5 枚とエコバッグを交換するコーナーを設けて、地球環境問題の啓発を行う案も出ている。

皆さんのご意見もいただきたいのでよろしくお願ひしたい。

(委 員 5)

昨年のおまつりにおける、クイズの出題について

クイズを作った時代と今とでは、違和感がある。

プラズマテレビと液晶テレビの使用量はある条件で言えば変わらない。

きちんとした裏付けデータを見せないと問題になる。

また、レジ袋1枚でCO2何グラムが削減できるのか。そういう問題があるといいと思う。

(委員3)

以前から言っているように、片方ではレジ袋を減らそうと言っている。片方ではレジ袋を配ってごみだらけにしている。

例年ごみの減量化と言ってはいるが、ごみを集めたら、減っているか増えているかわかるでしょ。

(事務局)

回収は業者に委託している。

(委員8)

今年、出たごみの量を調べてもらえばよい。

(事務局)

以前は、行政が収集していたが、今は原則商売人が持ち帰り、どうしても持って帰れないものを委託業者が収集する。ごみの量は見た目には減っている。

(委員3)

市のごみの減量を言っているが、まつりの中で影響を与えているのか。

(委員8)

基本データがないから、今年から取り組んではどうか。

(委員5)

土に返る容器を業者に使ってもらおうとか。

(委員6)

まつりの間、レジ袋を有料化にしてPRする。そうすればマイバッグを持ってくる。この期間だけ有料化にするので反発はないと思う。

(事務局)

向日市まつりの環境問題への取組について、実行委員会には、推進委員会議の考えを伝えている。今回の開催については、それなりの対策が講じられると期待している。また、要望もしていきたい。

